

雲母唐長(KIRA KARACHO) × 伊勢半本店  
コラボレーション小町紅

江戸時代より唯一続く唐紙屋「唐長」が守り継ぐ文様と小町紅がリップパレットで融合

小町紅『板紅』3種 各21,000円(税抜)

2019年3月1日(金)より数量限定発売



(手前から時計回りに)

小町紅『板紅』小柄雲鶴、小町紅『板紅』桜草唐草、小町紅『板紅』瓢箪唐草

このニュースリリースに関するお問い合わせ先

(株)伊勢半本店 PR担当 阿部 TEL 03-5774-0294 FAX 03-3406-0795

MAIL: abe\_em@isehan.co.jp

大島 PR(株) 大島

TEL 03-3545-1185 FAX 03-3545-1186

MAIL: oshima@oshima-pr-a.com

お客様お問い合わせ先 (株)伊勢半本店 TEL 03-5774-0296

〒107-0062 東京都港区南青山 6-6-20 K's 南青山ビル 2F



伊勢半本店は、「雲母唐長(KIRA KARACHO)」とコラボレーションした携帯用の紅、  
「小町紅『板紅』小柄雲鶴/桜草唐草/瓢箪唐草」を数量限定で発売いたします。

板紅とは、外出時などにお猪口に刷いた紅を持ち運ぶ代わりに、簡単に持ち運びができる薄い形状の紅を指します。

「雲母唐長(KIRA KARACHO)」は、1624年に京都で創業し日本で唯一途絶えずに11代続く唐紙屋「唐長」の唐紙師であるトトアキヒコ氏と千田愛子氏がプロデュースする、唐長を継承し次世代を担うブランドです。

板木から和紙に、ひとつひとつ手仕事で文様を写し取り、制作される唐紙。唐長に代々守り受け継がれてきた板木に彫られた文様は、花鳥風月や幾何学文様などさまざまなものがあり、シルクロードを渡って伝えられた広大な大陸の文化的背景のあるものから日本独自に洗練されたものまで多岐に渡ります。今回、六百枚以上もの板木の中から、鶴・桜草・瓢箪の三柄を選び、無数にある和紙と文様の色の組み合わせを吟味、丁寧に摺られた唐紙を、木製のフレームに貼りこんだ、ここだけにしかない板紅に仕上げました。

日本で唯一約400年の歴史を継承する唐紙屋であり、唐紙の新たな美を追求し続ける「雲母唐長」と、創業より変わらぬ紅作りの技を守り伝え約200年の歴史を繋ぐ紅屋「伊勢半本店」の稀なる共演です。

素朴な優しいラインが描きあげるとの文様にも、森羅万象を想い、幸せを祈る心が宿っています。掌の上で愛で、紅を点し、暮らしの中の装いの時を尊い時間に昇華する至宝をお届けします。



創業1624年より日本で唯一途絶えずに11代続く唐紙屋「唐長」トトアキヒコ氏と千田愛子氏のプロデュースによる、次世代を担う唐長を継承するブランド。

唐紙の美を広く世界に伝えると同時に、紙という枠にとらわれず、ときに異業界とのコラボレーションによって新しいプロダクトを発表し続けている。

「文様と色の美を通して人々の暮らしを豊かに」をコンセプトにした、クオリティの高いものづくりも注目を得ている。

ホームページ：<https://kirakaracho.jp>



株式会社 伊勢半本店

創業1825年以来、日本の伝統的な色料「紅」を、当時の製法そのままに作り続けている現今唯一の紅屋。

製法は、口伝でのみ受け継がれ、職人が丹精こめて紅花の花弁に僅か1%のみ含まれる「紅」を抽出、仕上げると「紅」は赤の反対色に近い玉虫色の輝きを放つ。

江戸時代から続く最後の紅屋として、伝統の技術を継承し続けるとともに、「小町紅」がいつの時代も生きた文化として、人々の暮らしを彩り続けるよう、新たな価値の創造に努めている。

ホームページ：<http://www.isehanhonten.co.jp>

## 小町紅『板紅』小柄雲鶴/桜草唐草/瓢箪唐草 3種 各21,000円(税抜)

伊勢半本店の創業(文政8年/1825)以来、変わらぬ色彩で女性を魅了し続けてきた小町紅。唐紙屋の約400年に渡る歴史を守り、伸びやかに次世代を担う「雲母唐長」と、伊勢半本店との数量限定コラボレーション小町紅を是非この機会に。

### 【商品概要】

#### ・商品名(販売数)



#### 小町紅『板紅』小柄雲鶴

色：シャンパンゴールド染め地に白摺  
(限定30個)

中国の神仙思想で瑞鳥と考えられていた「鶴」と「飛雲」を組み合わせた文様です。中には、鶴が松をくわえたさまを表した数多の吉祥文様の中でもひととき縁起の良い「松喰鶴」の文様も。



#### 小町紅『板紅』桜草唐草

色：桃色雲母染め地にゴールド摺  
(限定30個)

唐草文様は、世界中へ、東西文化繋ぎながら広がってゆき、各地でそれぞれの進化を遂げ発展しました。江戸時代に人気を集めた愛らしい桜に似た小さな花と繁栄を表す唐草を組み合わせた日本ならではの文様には和魂洋才を感じます。



#### 小町紅『板紅』瓢箪唐草

色：シルバー染め地にブルー摺  
(限定30個)

瓢箪は種子が多いことから、子孫の繁栄や多福を呼ぶとされる吉祥文様です。さらに唐草を加えた愛らしいモチーフは、江戸時代の茶人たちにも愛されてきました。

- ・販売価格 <3種共通> ¥21,000(税抜き) / ¥22,680(税込み)
- ・サイズ 板紅サイズ 約6.4×6.4×1.6cm / 紅面サイズ 約5.0×5.0cm
- ・成分 ベニバナ赤(ベニバナ100%)
- ・容器材質 <3種共通> 桐材(クリアウレタン塗装)、和紙、ポリプロピレン、鏡、真鍮 ※布袋付き
- ・販売方法 直営施設 伊勢半本店 紅ミュージアム / 電話通販 TEL: 03-5774-0296  
WEB 通販 <http://www.isehantonten.co.jp/products/index.html>

### 【使い方】

紅筆(別途販売 1,800円(税抜))に水を含ませ、容器の中の玉虫色の紅を筆で溶いて、唇に塗布します。唇に重ねる回数や、筆に含ませる水の量により、淡い桜色から深紅まで幾通りもの色を楽しめます。

(注意) 最初から濃くつかないよう、筆にとる紅の量は加減をしてください。



### 【商品特徴】

- ・携帯型リップパレット：小町紅を持ち運びに便利なパレットタイプにしました。(鏡・巾着付き)
- ・天然色素100%：原料は山形県産の最上紅花<sup>もがみ</sup>。花卉から抽出した赤色色素のみでできています。
- ・日本伝統の口紅：江戸時代から変わらぬ製法で作られている唯一の口紅です。
- ・軽いつけ心地：油分を含まないため、唇にのせた使用感はさらりと軽い点け心地です。石鹸でメイクオフできます。
- ・自分だけの色に発色：紅は全1色ですが、水の量や重ねる回数によって濃淡の表現が可能です。また、唇の色を反映して発色するため肌なじみがよく、自分だけの色をお楽しみいただけます。
- ・丁寧な器作り：木胎は、1974年に家具の特産地、飛騨高山で創業した「オークビレッジ」が制作しています。丈夫で安心、安全にこだわり全て国産の無垢材から作られています。
- ・幸福のメッセージを込めたデザイン：花鳥風月、有職・幾何学文様など時代や国や民族を越えて巡ってきた「唐長」が大切に受け継ぐ文様です。吉祥に繋がる意味が含まれています。